

【NEWS RELEASE】

2019年8月26日

各位

株式会社SMBC信託銀行

日本橋支店における「アートランチ」の展開について

株式会社SMBC信託銀行（代表取締役社長：藏原文秋）は、洗練された顧客経験の提供を目的に、貴重なアート作品が生み出す世界観をご体感いただける店舗を「アートランチ」と称し、2019年9月24日（火）より日本橋支店にて展開いたします。

1. アートランチについて

世界的に活躍する日本人現代アーティストである、桑田卓郎氏、小松孝英氏、小松美羽氏、舘鼻則孝氏、奈良祐希氏、名和晃平氏の協力のもと、日本では個々に鑑賞する機会が稀な作品がご覧いただける大変希少な空間を日本橋支店に創出いたします。

是非、この機会に日本橋支店にお越しいただき展示作品をご覧いただくことで、世界で活躍する日本人現代アーティストのエネルギーをご体感ください。

2. 展示期間・場所

- ・期 間： 2019年9月24日（火）～2020年3月27日（金）
- ・場 所： SMBC信託銀行 日本橋支店
東京都中央区日本橋 2-1-14 日本橋加藤ビル 1階2階
- ・時 間： 平日9:00～15:00
※当行に口座をお持ちではないお客さまもご覧いただけます。

3. 本施策の狙い

当行は、アートを「精神的な豊かさをもたらし、人の心に活力を与える」ものとして、これまでも本店及び東新宿出張所における美術大学生の作品展示やアートフェアへの協賛、美術品信託の取扱いなど、アートを切り口としたお客さまへのサービス提供や日本の文化支援に取り組んでまいりました。このたびのアートランチも、デジタル化が進む社会においてこそ、お客さまと直接つながる銀行店舗を有効活用することにより、お客さまに精神的な価値や感動を含めた「人生の豊かさ」をお届けすると共に、日本の文化活性化にも貢献する取り組みとして展開するものです。

当行は、今後も他金融機関にはない独自性のある商品、サービスをご提供することでお客さまに付加価値をお届けしてまいります。また、持続的なアート業界の発展をサポートすることで、より豊かな魅力溢れる社会の実現に貢献してまいります。

4. 展示作品の主なアーティストについて

桑田卓郎氏：1981 年生まれ。2001 年に京都嵯峨芸術大学短期大学部を卒業後、2002 年に陶芸家の財満進氏に師事、2007 年に多治見市陶磁器意匠研究所を修了し、現在は岐阜県土岐市に工房を構えて制作を行う。日本国内のほか、ニューヨーク、ブリュッセル、ロンドンなど世界各地で展覧会を開催。

小松孝英氏：1979 年生まれ。宮崎県在住。九州デザイナー学院アーティスト学科卒業。国連生物多様性条約記念ミュージアムに収蔵。国内外のアートフェアに多数出品、および個展開催多数。「九州から世界へ」を実践し生物多様性をテーマに描く。国文祭・芸文祭みやざき日南市 2020 総合プロデューサー、延岡市観光大使。

小松美羽氏：1984 年生まれ。神獣などをテーマとした作品を発表。2014 年には出雲大社へ作品を奉納。有田焼の狛犬作品が大英博物館へ収蔵される。台湾・香港での個展など国際的な活躍をみせる。

館鼻則孝氏：1985 年生まれ。東京藝術大学で絵画や彫刻を学び、後年は染織を専攻。遊女に関する文化研究とともに日本の伝統的な染色技法である友禅染を用いた着物や下駄の制作をする。近年はアーティストとして、国内外の展覧会へ参加する他、伝統工芸士との創作活動にも精力的に取り組んでいる。作品は、世界の著名な美術館に永久収蔵されている。

奈良祐希氏：1989 年生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻首席卒業。磁器土、轆轤、CAD といった繊細な素材を使い、古代から培われてきた技術と最新技術を駆使して未来的造形と表現に挑戦している新世代の現代工芸作家。

名和晃平氏：1975 年生まれ。彫刻家、京都造形芸術大学教授。2009 年、京都に創作のためのプラットフォーム「SANDWICH」を立ち上げる。独自の「PixCell」という概念を軸に、様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓けている。近年は建築や舞台のプロジェクトにも取り組み、空間とアートを同時に生み出している。

以 上